

シンカ

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

シンカ

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



# 令和4年度活動報告

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School

シンカ

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



勝山市地域おこし協力隊

永野龍典 (Ryusuke Nagano)

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

Fukui prefectural  
Katsuyama High School



真誠信

福井県立  
勝山高等学校

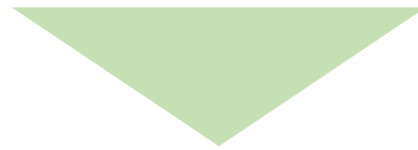
シンカ

勝山高等学校の推進する

# 「高校魅力化プロジェクト」

探究学習の実施に向けた各種支援

市内事業者等と協働した学習のフィールドを開拓



**地域と学校を繋ぎ学びを地域でサポート**

**将来の勝山 のプレイヤー育成**

# 探究学習とは

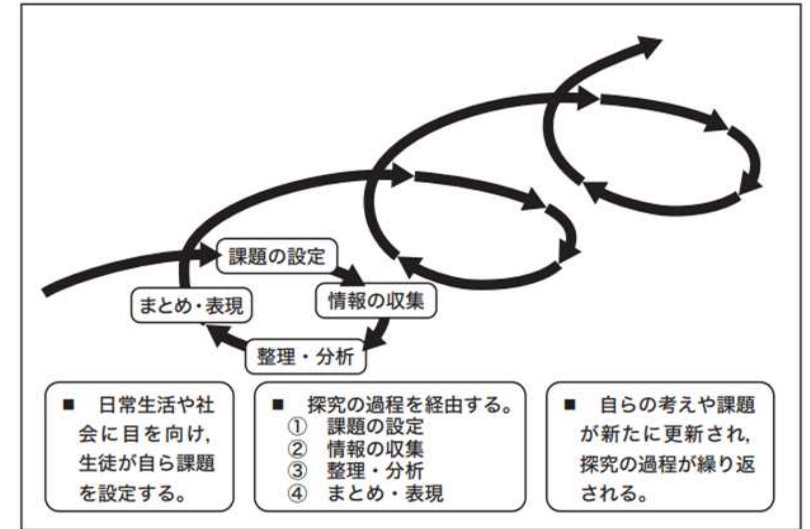
変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものである（文部科学省）

## OECD（経済協力開発機構）のキーコンピテンシー（2003）

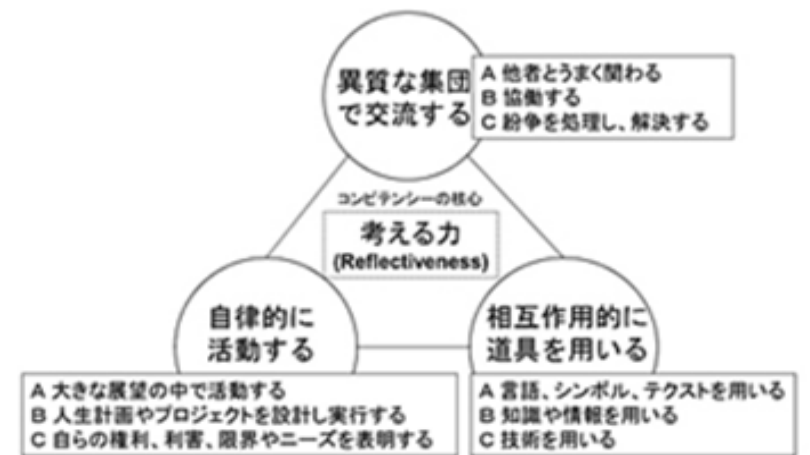
1. 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力
2. 多様な社会グループにおける人間関係形成能力
3. 自律的に行動する能力

### Keypoint

- 教員は教える立場から、一緒に考える対話相手
- テーマは与えられるのではなく自分で見つけ出す



出展：文部科学省学習指導要領解説



（立田慶裕『キー・コンピテンシーの実践』2014、明石書店、40頁）

# 主な活動：勝山高校に常駐し実施

2月 授業コンテンツ作成、学内探究WG、事業者まわり

3月 学生発表指導、カリキュラム作成

4月 授業開始、協力隊研修（講師）

5月 探究科授業本格化、中部中学校ゲスト講義

6月 探究科個人面談、大野市協力隊連絡会

7月 2・3年生発表会、各種研修・研究会参加

8月 県立大学リレー講座、情報交流（仙台市、西粟倉村）

9月 プレゼン添削、キャリア探究セッション

10月 勝山高校探究的教育活動中間評価会

11月 1年生ラウンドテーブル①、2年生テーマ別ゲスト対談

12月 丸岡高校情報交換、ハピネスふくい放映

1月 探究成果一般調査、1年生ラウンドテーブル②、個人面談

2月 2年生中間発表、福井大学ポスターセッションにて発表

3月 他校発表サポート、次年度計画、新入生オリエンテーション

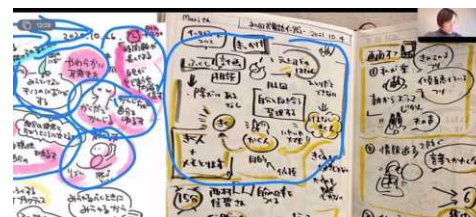


# 探究学習の各種支援

- 探究特進科の**授業計画** (90コマ) ・ **実施** ・ サポート
- 普通科各学年の授業計画支援 ・ 授業準備
- 大学 ・ 事業者等の**ゲスト** 招聘事務
- 中学校向け**学校紹介** 資料作成
- 探究関連研修会等の情報収集 ・ 参考図書紹介
- 探究成果**検証のためのデータ** 取得 ・ 分析
- その他、探究企画部業務支援



学年	科目	単元	探究学習	内容
1年	総合	1-1	○	探究学習の意義と目的
		1-2	○	探究学習の方法と実践
		1-3	○	探究学習の評価と振り返り
		1-4	○	探究学習の成果発表と発表会
		1-5	○	探究学習のまとめと振り返り
		1-6	○	探究学習の振り返り
		1-7	○	探究学習の振り返り
		1-8	○	探究学習の振り返り
		1-9	○	探究学習の振り返り
		1-10	○	探究学習の振り返り
		1-11	○	探究学習の振り返り
		1-12	○	探究学習の振り返り
2年	総合	2-1	○	探究学習の意義と目的
		2-2	○	探究学習の方法と実践
		2-3	○	探究学習の評価と振り返り
		2-4	○	探究学習の成果発表と発表会
		2-5	○	探究学習のまとめと振り返り
		2-6	○	探究学習の振り返り
		2-7	○	探究学習の振り返り
		2-8	○	探究学習の振り返り
		2-9	○	探究学習の振り返り
		2-10	○	探究学習の振り返り
		2-11	○	探究学習の振り返り
		2-12	○	探究学習の振り返り
3年	総合	3-1	○	探究学習の意義と目的
		3-2	○	探究学習の方法と実践
		3-3	○	探究学習の評価と振り返り
		3-4	○	探究学習の成果発表と発表会
		3-5	○	探究学習のまとめと振り返り
		3-6	○	探究学習の振り返り
		3-7	○	探究学習の振り返り
		3-8	○	探究学習の振り返り
		3-9	○	探究学習の振り返り
		3-10	○	探究学習の振り返り
		3-11	○	探究学習の振り返り
		3-12	○	探究学習の振り返り



## 勝山高校との比較

勝山高校の調査を、ほぼ全員が「高めの評価」に高いため、一般調査の調査との比較を行った。

- 「成長実感」「課外活動」「地域への印象」で勝山高校のスコアが高めに出ているが、「スキルの実感」の面で低くなっている。
- 当該部分の詳細を下図で確認すると、次の4点（課題発見、課題解決、遊び心、基礎学力）が特に低く、これらに対する実力と自己認識が高まる方が、今後の探究学習の取り組みにおいて工夫が必要なポイントと考えられる。
- 参考までに、「マクロミル調査における「社会人が必要と考えるスキル」と比較すると、スコアは大きく差があることから、たとえ高めのスコアであっても満足せず、向上させていくことが望まれる。



※社会人のスコアは「必要と考えるスキル」であり「自己評価」ではない。

## 勝山高校生「探究で役に立ったと思うこと」

- 経験と話し合うことで、自分とは違った視点の意見を聞くことができた
- 共通した課題を持つことで、自分と共通の課題を解決することができた
- 地域について考える高い機会になった
- 課題があることを互いに気づくことができた
- 自分自身に気づきがあったことで、スムーズに活動できた
- 課題での活動を行うきっかけになった
- 知らず知らずのうちに知識が深まった
- 関心を持つことで、より深く学びたいと思うようになった
- 実行計画が立てられ、実行計画が立てられるようになった
- 実行計画が立てられ、実行計画が立てられるようになった





# 市内事業者等との協働 (順不同・敬称略)

## ■ 学内企画・報告会アドバイザー等

**教育関係：**福井県立大学教授ら (のべ37名)、  
福井大学教職大学院、福井県教育委員会、勝山市教育委員会

**勝山市役所：**総務課・商工文化課・健康体育課・建設課・  
営繕課・未来創造課・市民課

**市内事業者等：**福井銀行、福邦銀行、越前信用金庫、ラコーム、  
厨ぼうず、多田製紐、北八建設、松文産業、  
勝山市観光まちづくり会社、丸山工務店、K2アドバンスト、  
勝山オレンジクリニック、フクタカ、ニットク、大北久保建設、  
田村登記事務所、椿阪電機、坪内建設、福井勝山総合病院、  
東急リゾーツ&ステイ、橋島康祐、  
地域おこし協力隊 (西垣、山崎)

**市外：**福井新聞社、福井放送、PCN武生、丸岡高校、  
プリマペンギーノ、Color Branding、山岸充、福井済生会病院、  
玉木新雌、室伏長子

## ■ 学生個別相談等

北八建設、勝山オレンジクリニック、  
北里大学災害医療センター、勝山青年会議所、世界一周大学、  
橋島康祐、島田蓮、村上雄哉、  
地域おこし協力隊 (西垣、山崎、滝谷)

## ■ 取材・情報交流

東北大学、東京都市大学、東北学院大学、仙台高等専門学校、  
福井高等専門学校、埼玉県立生越高校、PCN武生、探究横丁、  
環境省中部EPO、ソーシャルアニマルボンド、大津屋、  
エーゼロ (西粟倉村)、アルマスバイオコスモス研究所、  
GAIAX、JAMSTEC、中部中学校、くにみクラゲ公民館、  
福井放送、福井新聞、  
県民福井



2022.12.11(日) 字幕放送

どうなってる？福井の教育の今

今回のテーマは、「どうなってる？福井の教育の今」。  
明治5年に大学校、中学校、小学校を置くことを定めた  
「学制」が交付されて今年で150年。  
県教育博物館では今、「学校150年物語」展を開催している。  
学校では、「引き出す教育」「楽しむ教育」など、  
さらに進めた教育文化の取り組みを進めている。  
新学科や新コースができた県立高校も取材する。

# 探究学習講座メニュー例

---

**講座形式は全体の1/3程度に留め、自己で深める時間を十分に取ります。**

- 探究ミニサイクル（遠足：魅力発見、課題発見、解決案、現地確認）
- ロジカルシンキング（論理的に考える・伝える）
- 発表と相互評価（他者評価と自己評価の差異を確認）
- エゴグラムとSWOT分析（自己理解を高める）
- KJ法体験（SDGs、自分の興味関心を「好き」と「こだわり」で2軸分類）
- 思考マインドマップと相互意見収集（Jamboard）
- データリテラシーとアンケート調査（何を聞くより誰に聞くが大事）
- インタビュー調査のコツ（福井新聞ゲスト）
- グラフィックレコーディングに学ぶメモをとるコツ（外部講師）
- 伝える技術（プレゼンデザイン）
- レポートの書き方

# R5年度の展望

---

探究の授業は、1・2年生（新課程）が同一の時間割で展開



- 属人的でない授業展開ができる仕組みづくりを前倒して実施
- 生徒の探究を介した地域参加機会を創出していく
- 勝山高校を「隠れた探究先進校」としてアピールしていきたい

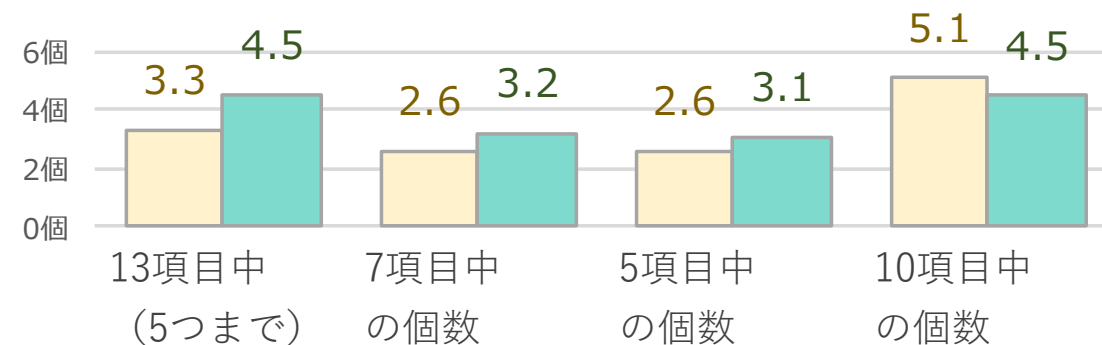
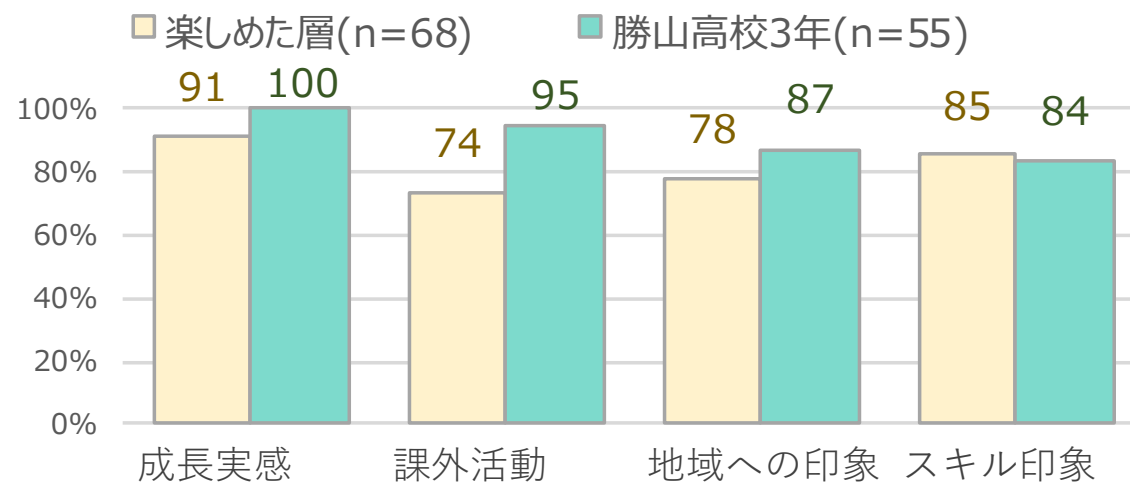
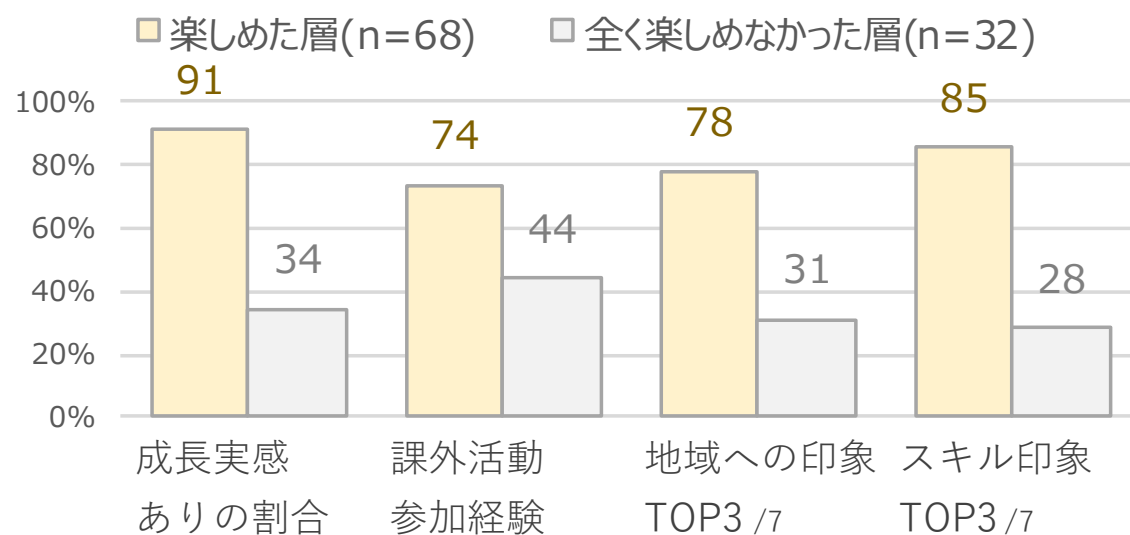


# APPENDIX

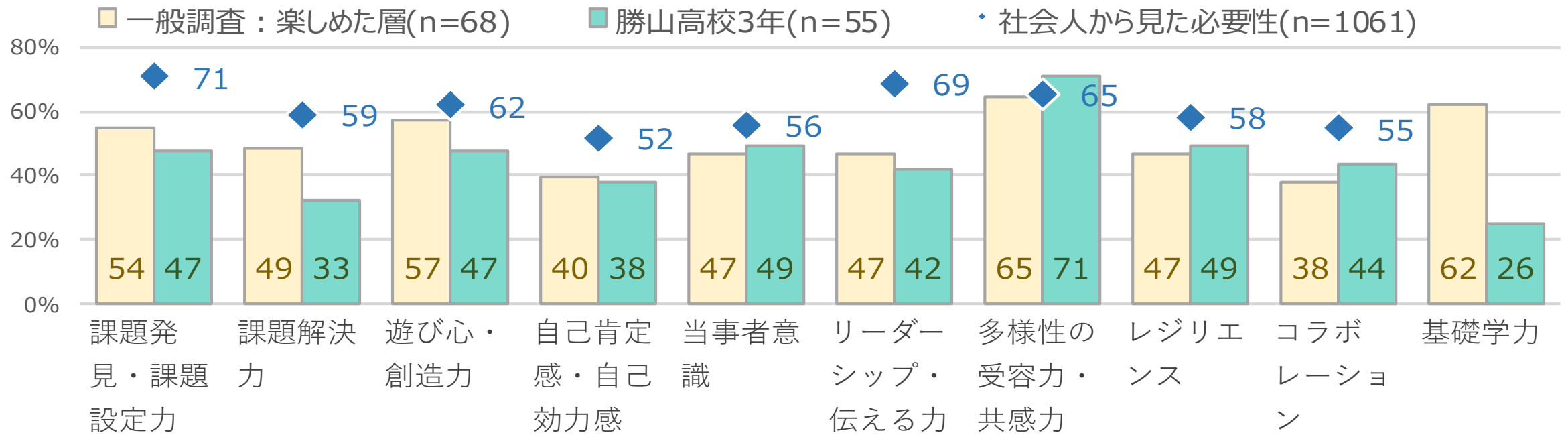
# APPENDIX：探究学習の効果に関する定量調査

探究を楽しめた層は、成長実感、課外活動、**地域への印象**、自己スキルの自己評価がポジティブ。

勝山高校3年（旧課程）では各種スコアが高めだが、スキルの自己印象でもう一步。



# APPENDIX：スキル印象「同年代の平均以上と感じている」



注意：自己のスキル評価においては、自己理解を正しくできる枠組みが前提となり、自己理解の度合いが低い場合、実際より高く自己を評価する傾向があるため、解釈には留意が必要

# APPENDIX：探究で役に立ったと思うこと（勝高3年生）

---

- 仲間と話し合うことで、自分とは違った視点での意見を聞くことができた
- 見通しを持って活動することができた
- 地域について考える良い機会になった
- 自由に取り組めるよう必要以上に指示されなかったのでスムーズに活動できた
- 外での活動を行うきっかけになった
- 知らうとしていなかった知識が増えた
- 関心を持ってもらうにはどうしたらいいのか考えられた
- 裏付けをしっかりとできるようにできた
- 大学に進学して多くの知識をもっと入れたい